

「原発いらない」「再稼働反対」とコールする人たち＝7日、国会正門前



原発なくすまで

声上げ続ける これからも

首都圏反原発連合（反原連）は7日、「原発ゼロ☆国会前集会ー原発事故から10年・福島とともに」を開きました。活動休止前最後の国会前集会以「再稼働反対」「原発いらない」のプラカードを手にした市民と野党議員が参加し「これからも声をあげ続けよう」と訴えました。

↓志位委員長と野党代表のスピーチ②・市民のスピーチ③

反原連が国会前集会

志位氏スピーチ

主催者あいさつしたミサ さま原発を推進しようとし さんごどもに声をあげ続けオレッドウルフさんは「事 ている」と批判。「休止し ます」と語りました。故から10年たっても福島の ますが解散はしません。原 日本共産党の志位和夫委員みなさんを置き去りにした 発ゼロに変わるまで、みな 員長、笠井亮衆院議員、吉

良よし子参院議員、立憲民主党の首直人元首相、大河原雅子、山崎誠の両衆院議員、社民党の福島瑞穂発言、れいわ新選組の辻村ちひろ東京8区総支部長が訴え。野党議員がステージに並び「野党は共闘」のコールが起こりました。

著名人・文化人がスピーチ。作家の落合恵子さんは「反原連は、豊かで自由な時間と空間、年齢もセクシユアリティも超えているんな人が声をあげられる場をつくった」と強調。社会学者の小熊英二さんは「脱原発を求める運動が、国民の世論と認識を変えた。この運動は必ず勝つ運動だ」と語りました。

スピーチした日本共産党の志位和夫委員長は、福島の市民と行った懇談の内容にふれ、「10年たっても原発事故は継続し拡大し続けています」と告発。賠償と支援の打ち切りを許さず、継続・強化を求めていると訴えました。野党が共同提出している「原発ゼロ基本法案」を成立させ、「原発ゼロ」の日本をつくらうと呼びかけました。

反原連の活動は「二人ひとりが自発的に参加する戦後かつてない新しい市民運動をつくれた」と強調。「政治がおかしい」と考えたら自発的に官邸前、国会前へ行って声をあげるといふ運動は、安全法制廃止の運動、市民と野党の共闘につながったと指摘。「その意味で、野党共闘の『生みの親』は反原連のみなさんがつくってきた運動です」とたたえました。志位氏は「原発ゼロを実現する一番の早道は、政権交代です。原発ゼロを執行する新しい政権をつくらう」と呼びかけ、拍手に包まれました。